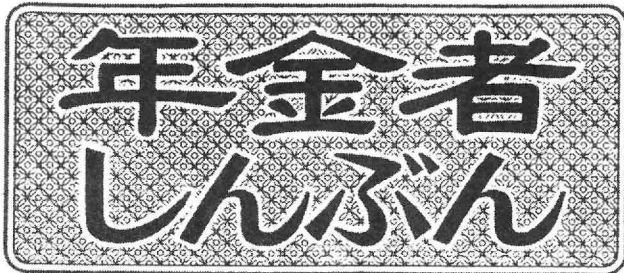


神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

3月31日現勢 組合員 8,790名
機関紙 5,188部
年金改善署名 55,100筆



神奈川県版 第245号 2009年4月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



年金3%アップを実現せよ 3・19国会包囲行動

「物価に見合う年金3%の引き上げ」「低年金・無年金生活者へ生活支援金の支給」「後期高齢者医療制度の撤廃」を要求して3月19日、首都圏を中心に2000人を越す組合員が、国会包囲行動と厚生労働省要請を行いました。神奈川県本部から約300人が参加。大企業を救って高齢者・弱者を切り捨てる自公政治に強い怒りと要求実現を迫りました。

加入した人は支部役員のご家族や、ごく親しい知人、友人の方々に比較的年金者組合に理解のある人たちです。県本部提起の目標は「50人の支部づくり」をめぐっており、これからが正念場です。3月最後の日曜日、さらに新しい仲間を迎えようと、長谷川支部長自らが小・中学校の同期、友人、知人を書き出し、小泉書記長と2人で訪問し

川崎中原支部のモットーは「減らさず増やす」です。しかし、組合員数の伸びは亀の歩みに似てややスローモーション。執行委員会などでは「よその支部では大きな団地にチラシを全戸配布しているよ」「でも成果が出るのに3〜4カ月もかかるぞうだ」「それでは月間に間に合わないよ」じゃどうする。いろいろ話し合いの結果「たい

たいへんだけれど、やるなら団地を全戸訪問して直接訴えよう」ということになりました。どの団地を選ぶか。「高齢者が多く住んでいる団地」「築後年数の永いところ」そして「組合員が住んでいなくても、何かのつながりがある人が住んでいる」そんな条件を満たす団地として、区内でも最も古い二つの市営団地をターゲットとし、

役員と組合員10人が2人1組で午前9時、午後6時に67軒を訪問しました。成果は、女性組合員1人の加入、「検討して返事したい」人が7人もいました。ほとんどが面談に応じてくれ、ある家では部屋に入れてもらい「切実な悩みをじっくり聞かされる」こともありまし

た。消えた年金問題、後期高齢者医療制度の問題等には必ず反応がありました。支部はこの全戸訪問に元気をもらい、さらに次の団地も決めて実行する予定です。(中原支部 竹中健治)

春本番 いきいき楽しく 県本部9500人へ 自主目標を必ず達成

春らんまん、いきいきとした若葉と共に県本部9500人をめざす「春の仲間づくり月間」が最大の山場を迎えました。私たちは2月24日1泊2日の全県活動交流集いで、6月23日からの全国大会までに、年金者組合がかかげた要求実現と、組織の強化をめざす春の運動方針を作り上げ、3月は総ての支部が学習と拡大目標を持つ。同時に運動に踏み出すことを決めました。

取り組みは着実に広がり、3月、4月目標を達成した支部、高齢者比1%を新たに突破した支部など、3月末までに実増50人を拡大しました。4月7日全支部代表者会議が開かれ、勢いをつけて、それぞれの自主目標を必ずやり切ろうと決意をあらたにしました。

月間では新加入者の多くが楽しい行事やサークル活動の中から加入されているのが特徴です。誕生会、新春のつどい、河津桜を観る会、お花見会、春のバス旅行、懇親会、文化作品展、マージャンサークルなどで、組合加入を積極的にすすめて成果があがっています。また加入対象者を支部委員長をはじめ、役員が訪問して加入が増えています。私たちがめぐる情勢は、自公政府のもとで、国民と高齢者の要求が渦巻い

ており、たたかえば要求は前進します。年金者組合に対する期待も強まっています。主体的力量を強く、大きくすることがたいへんに重要です。すべての組合員の皆さんに呼びかけます。ぜひこの「仲間ふやし」に力を貸してください。サークルの仲間や知り合いの仲間、まだ年金者組合に入っていない人がいましたら加入を呼びかけてください。加入対象者を紹介してください。(小泉健児県本部組織部長)

組合加入の成果はありませんでしたが、前向きな返事もいただいていたので、4月には詰める活動をやるとうと意志統一を図っています。(横浜西支部・小泉欣一)

この3月から副支部長の仁木さん宅が家族の温かいご了解のもと、支部事務所としてお借りすることができました。すでに電話・FAXも入り、支部の溜まり場として、

役員と組合員10人が2人1組で午前9時、午後6時に67軒を訪問しました。成果は、女性組合員1人の加入、「検討して返事したい」人が7人もいました。ほとんどが面談に応じてくれ、ある家では部屋に入れてもらい「切実な悩みをじっくり聞かされる」こともありまし

た。消えた年金問題、後期高齢者医療制度の問題等には必ず反応がありました。支部はこの全戸訪問に元気をもらい、さらに次の団地も決めて実行する予定です。(中原支部 竹中健治)

目標達成一番乗り 横浜西支部は更に奮闘

昨年12月7日、神奈川県本部から分離し38人で発足した横浜西支部は、3月末までに7人を増やし45人となりました。拡大率10%の県本部目標を上回る18%の成績で、春の月間目標を達成しました。

加入した人は支部役員のご家族や、ごく親しい知人、友人の方々に比較的年金者組合に理解のある人たちです。県本部提起の目標は「50人の支部づくり」をめぐっており、これからが正念場です。3月最後の日曜日、さらに新しい仲間を迎えようと、長谷川支部長自らが小・中学校の同期、友人、知人を書き出し、小泉書記長と2人で訪問し

この3月から副支部長の仁木さん宅が家族の温かいご了解のもと、支部事務所としてお借りすることができました。すでに電話・FAXも入り、支部の溜まり場として、

役員と組合員10人が2人1組で午前9時、午後6時に67軒を訪問しました。成果は、女性組合員1人の加入、「検討して返事したい」人が7人もいました。ほとんどが面談に応じてくれ、ある家では部屋に入れてもらい「切実な悩みをじっくり聞かされる」こともありまし

た。消えた年金問題、後期高齢者医療制度の問題等には必ず反応がありました。支部はこの全戸訪問に元気をもらい、さらに次の団地も決めて実行する予定です。(中原支部 竹中健治)

諸要求と仲間づくり 共に合わせた大きな運動

横浜みなみ支部(組合員292人)が県下の支部では初めて自前の組合事務所を設け、支部活動推進の大きな力となりました。

みなみ支部はこれまで会議やサークル活動はすべて地区センターなどの会議室を借りていました。急な相談などはファミレスや喫茶店で間に合わせていました。

この3月から副支部長の仁木さん宅が家族の温かいご了解のもと、支部事務所としてお借りすることができました。すでに電話・FAXも入り、支部の溜まり場として、



4役、女性の会などの会議、サークル活動、相談ごとに役立っています。女性組合員は、いつでも自由に寄り合っておしゃべりができるのは素敵ですと好評。組合活動に一段とはずみがつきます。今後は地域に定着した年金者組合らしく、住民の年金・生活などの相談活動も受けられるようにしたいなど、活動の夢が大きくなっています。

支部は3月28日、定期総会を開催して、300人を1日も早く突破し、自主目標達成をめざすことを決めました。(支部長・鈴木久雄)

役員と組合員10人が2人1組で午前9時、午後6時に67軒を訪問しました。成果は、女性組合員1人の加入、「検討して返事したい」人が7人もいました。ほとんどが面談に応じてくれ、ある家では部屋に入れてもらい「切実な悩みをじっくり聞かされる」こともありまし

上瀬谷基地の早期無条件返還を

瀬谷平和まつり



瀬谷、旭支部の仲間も平和のうたを

3月29日、横浜瀬谷区で第8回瀬谷平和まつりが開かれ、1200人が上瀬谷基地の早期無条件全面返還と、市民のための跡地利用を要求しました。年金者組合旭、瀬谷支部も大勢の仲間が参加し、平和の歌声をオンステージ。両支部の模擬店も賑わいを見せました。

花と話しがいつぱい

平塚・中原うたごえの旅

4月1日、平塚中原うたごえサロンの女性ら35人が埼玉・栃木の花巡りに出かけました。三かものカタクリ、太平寺のしだれ桜、幸手の菜の花と古河の桃源郷。どれも見頃の素敵な花の海でした。バスの中はじゃんけんゲームや尻取り合戦などで盛り上がり、初参加の2人も、こんな楽しい会にぜひ仲間に入れてとの感想に歓迎の拍手が。車中ではキューバの報告もあつて、医療費、教



熟女たちの笑いがあふれる

青春まっただ中

金沢支部の「サークル18きっぷ」

年明けの千葉・犬吠崎・銚子港・成田山詣から、岡山・姫路城に続いて、3月は静岡・身延線で浅間大社、名物の焼きそばに舌鼓。東海道線に戻り、「せせらぎの街」で人気の三島に出て、湧水の源兵衛川1・4キロ散策。写真、清流に咲く、白く可憐なミシマバイガモに旅の疲れが癒されました。終わりに三島大社で平和を祈願し、高価なウナ



旭の会 女性関係

みんなに待たれるピンクの手書き新聞に

旭・瀬谷女性の会結成から4年目、県本部大会で「旭支部でもぜひ女性の会ニュースを発行したい」と発言したのをきっかけに2003年3月に第1号を発行。旭・瀬谷女性の会から、旭女性の会に至る今年3月まで88号を発行してきました。編集は月1回の女性の会幹事会の中で検討します。記事の内容、書き手を決め、依頼する担当者が期日までに編集者に集中して書き上げます。あまり講義的なものでなく、



組合の行事、活動に参加できない会員さんに行動を知らせる。参加した人の感想を載せる。これからの予定を知らせる。が中心ですがサークル紹介、料理、最近「自由投稿コーナー」を設けました。パソコン全盛のこの時代に手書きとは何と不合理？の感もありませんが、見出しに工夫して筆を使う、スクリーントーンで変化をつける、罫線でバランスをとるなど、仕上げの印刷まで、見やすききれいな紙面になるよう細心の

前進座特別公演 2本立て興業

江戸城 総攻

左の腕

松本清張誕生百年 中村梅之助舞台生活七十年

5月15日(金) 11時 国立劇場・大劇場
1等7200円/2等3000円/3等2000円
申し込みは各支部へ(5月22日の分もあります。)

県本部20周年記念企画

高齢者福祉 韓国交流の旅

7月6日(月)～9日(木)

年金者組合ならではの企画です。

添乗員同行

- ①出発帰着は便利な羽田空港を利用。
- ②日韓両国の高齢者のくらしを交流。
- ③緊張の38度線。板門店を見学。
- ④円高ウォン安ソウルでお得なお買物。

費用 106,500円

申込・質問 各支部または県本部(担当松永) 電話 (045)663-4061

県本部結成20周年記念 第4回文化・作品展

期日：09年4月21日(火)～4月27日(月)
会場：かなっくホール (JR東神奈川駅下車1分)
展示品：絵画、書、写真、彫刻、手芸、他
搬入 4月21日(火) 10時～12時
搬出 4月27日(月) 15時～
出品料 1人500円
申込切 4月15日
問合せ 045-663-4061

革命50周年 キューバを訪ねて 音楽とゲバラに感動

平塚・原理代

3月11日から21日までシンガーソングライター北川でつさんと「キューバ音楽交流の旅」に参加しました。交流の旅では折しもWBCの日本対キューバ戦で、日本が勝利。街では笑顔で気軽に「日本は強いね」と声をかけてくる人が大勢いました。各地に老人施設「ソシアルクラブ」があつて、60代から90代までの会員制で、400人もの人たちが入れ替わり集まっているいろいろなサークルを楽しんでいました。先生は会員の中で特技を持っている人で、みんな「生きるのが楽しい」と目を輝かせていました。音楽が流れると軽快に踊り出します。私たちにいっしょに踊ろうと手を取り、会場は床が抜ける

- 神奈川年金者文芸 (俳句) 平塚支部 坪井 稔恭 放水のサイレン続く雪解谷 平塚支部 高橋 福松 鳥帰るインフルエンザ連れていけ 平塚支部 露木 茂子 水温む厨仕事のららららら 平塚支部 寺田 公明 啓蟄の風切り走る下校の子 川崎麻生支部 阿部 和子 年金者の旅どこまでも海の青 山肌は粉ゆき見ぬや梅の園
- (川柳) 旭 支部 本間鈍根花 不況風桜吹雪で吹き飛ばせ 桜さき不況乗り切れ花見酒 横浜北支部 吉田 一夫 吸血鬼隠して笑顔クリントン 大臣の酒でどきどき基地負担 横須賀支部 山田 良夫 スレスレの違反でなくて大騒ぎ 大不況ネットの穴を際立たせ 旭 支部 毛利やすひこ 給付金行き渡った頃選挙する 高配当しながら派遣切る社長

